

<白金標準、プラチナ触媒需要の3割超が欧州市場・・・>



(出所：オアシス)

30日にフランス国民議会（下院）の選挙で第1回目の投票が行われる。世論調査ではルペン氏率いる極右政党・国民連合が36.2%で第1党、左派連合「新人民戦線」は28.3%で第2党となり、マクロン大統領率いる中道派「再生」は20.4%で第3党となるなど、2017年には「ユーロ離脱」を発言した極右政党・国民連合のルペン氏がフランス首相になる可能性が高まりを見せている。特にフランス企業は、選挙前に資金確保の社債発行を拡大させるなど、選挙後の政変に備える動きを見せている。特にフランスは欧州連合（EU）内で第2位の経済大国であり、そのためフランスの政変はプラチナ需要の4割を占める自動車触媒需要の3割超がEUの需要でもある事から、プラチナ価格は抑制される値動きに結び付き易い。そのため週末のPCEデフレーターを発表を受けて白金標準先物は、一時5245円まで高値を試すも、発表後は逃避に抑えられ5154円まで下げている。特に今週はフランス国民議会選挙後には4日はEUが中国製EVに対する最大48%の輸入関税発動を迎えるなど、政治的なイベントが控えており、逃避の動きに備えるのが妥当に思われる。

<テクニカル>

白金標準先物の日足をMACDとRCIで見た場合は、MACDではMACDが上昇し、シグナルも上昇し、RCIでは短期が切り下げ、長期は上昇するなどオシレーターは依然と強気を維持している。ただ日足で2本の上ヒゲを引き、目先高値抑制を示す動きに思われる。

このレポートはお客様への情報提供を目的としています。情報に関しては正確を期するよう最善を尽くしておりますが、内容の正確性、信憑性に関し保証をするものではありません。利用にあたっては自己責任の下で行ってください。売買の判断はお客様御自身で行ってください。

○商品デリバティブ取引は最初に委託者証拠金等の預託が必要で、その額は商品によって異なりますが、最高額は1枚当たり通常取引 1,530,000 円(2024 年 7 月 1 日現在)です。また、委託者証拠金は相場変動や日数の経過により追加預託が必要になることがあり、その額は商品や相場の変動によって異なります。○商品デリバティブ取引は相場の変動によって損失が生ずることがあります。また、実際の取引金額は委託者証拠金の約 10 倍から 70 倍と著しく大きいため、損失額が預託している委託者証拠金の額を上回ることがあります。○商品デリバティブ取引は委託手数料がかかり、その額は商品によって異なりますが、最高額は 1 枚あたり往復 73,920 円(2024 年 7 月 1 日現在)です。手数料額は相場変動により増減する場合があります。

当社(商品先物取引業者)の企業情報は当日本・支店及び日本商品先物取引協会で開示しています。お取引についての御相談は、当社顧客サービス担当(東京)電話 03-5540-8423 (受付時間:平日 8:30~17:30)

証券・金融商品あっせん相談センター <https://www.finmac.or.jp> 日本商品先物取引協会相談センター
<https://www.nisshokyo.or.jp>